

各 位

2024 年 11 月 15 日
株式会社リットーミュージック

還暦&ドラマー生活 40 周年を迎えた TOSHI NAGAI から
音楽／演奏を続けるための“MIND（メンタルと思考力）”を学ぶ！
『TOSHI NAGAI MIND DRUMMER』が発売



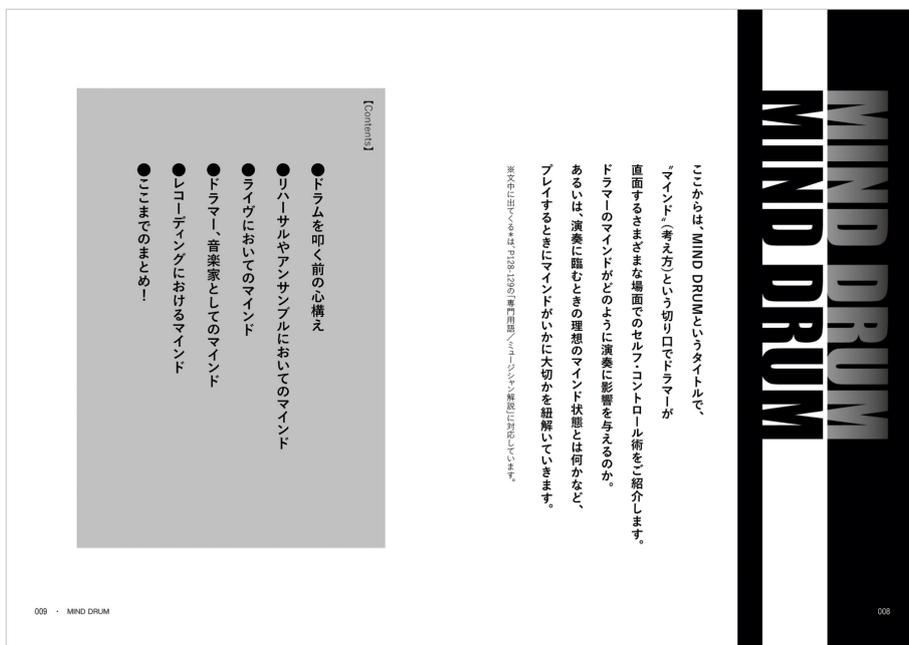
インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『TOSHI NAGAI MIND DRUMMER』を、2024 年 11 月 15 日に発売します。

GLAY や氷室京介、男闘呼組、T-BOLAN など、数々のサポートをこなすセッション・ドラマー、TOSHI NAGAI がミュージシャンのための“時代を生き抜くメンタルと思考力”について語る『TOSHI NAGAI MIND DRUMMER』をリリースします。

本書はリズム&ドラム・マガジンで約 1 年にわたり掲載された、ドラマーの“メンタル”にスポットを当てた連載セミナー「MIND DRUM」に大幅な加筆／修正を加えたものに新規コンテンツも

ふんだんに収録しており、40年を超えてなお第一線で活躍を続ける氏ならではの“時代を生き抜くメンタルと思考力”を1冊の本へと落とし込んでいきます。

さらに巻末特別収録として、長きにわたりサポートを務める GLAY の JIRO とのスペシャル・トーク・セッション、そして50歳&ドラマー生活30周年のタイミングで表紙を飾ったリズム&ドラム・マガジン2014年12月号にて掲載された GLAY の TAKURO との対談も再収録されています。



基礎練習に向かうためのマインド

表現を広げるための突破口

ドラムに限らず、どんな世界にも基礎はつきものです。でも基礎練習はむしろしても単純だし、サボりたいという人も少なくないかもしれません。でも、後身はワクワクして練習していることが多いと思います。誰かから「やりなさい」「言われたわけでもないし」「ずっと練習していて飽きないの?」とよく言われますが、毎日の練習は同じよって毎回違うし、新鮮なんです。やり続けているからなのか、身体が変わってきているからかもしれないですけど、やっていくうちに力みも抜けてくる。それに、今までやったことがない世界観のプレイができるようになると思うと、面白みも増すのです。表現というのは自由で、たくさん方法があります。それを広げるための基礎練習だと思えば、練習に対する見方も変わると思います。

最近DVDでフェスに出演したときの話ですが、メンバーと同じ茶屋で基礎練習をやっているとき、僕は目を瞑って練習パッドを小さく叩いていました。そうした1つの間に



リズム&ドラム・マガジン 2014年12月号の表紙と対談記事。

がします。

T そのリリースでいうと、「NDCV」さんは今、暗闇のトンネルを歩いています。でも向こうに光が見えてようやく出たとき……花が咲いていますか、咲いていませんか? とか。もちろん僕は心理学者じゃないので答えなんか持っていないんです。でもそのとき出す音や何気ない会話の中で、NDCVさんやメンバー合せての状態が何となくわかるから、これ以上追い込んだりも違う、今できることはここまでなのでこれを踏まえて反復練習して、次のアルバムのときに……なんでも、簡単に言うとサイモン&ガーファングルの「ボクサー」、あとは海援隊の「思えば遠く来たものだ」とか、そんなことがデビエー以来ようやくできるようになってきました。この5年くらいですね。

N 転がる感じ、ね。それもグルーヴとかスネアとかじゃなくて、その雰囲気はほしいんです。

T 1人ができてダメで、メンバー全員がそのイメージを共有して、どこかで自分の能力を8割まで落とさなきゃいけない人もいる。俺がよくせがんでNDCVさんに話しても



だと思いが、目標にするべきなのはもつと別なところだということですね。

「僕は結構、NAGAIさんとEROのリズムを意識しているところがあります。上モノで、ギター、ソロやピアノのイントロなどがあるときはそれも意識しますが、基本的にNAGAIさんの出すビートに対してどうするか、そしてやっぱりNAGAIさんが歌いやすいようにということを考えて演奏しています。それでもやっぱり、自分がドラムのタイミングから少しズラすことでグルーブが作れるんじゃないかと、ちょっと色気が出てしまうところがあるんです。でも、それは違うな。NAGAIさんに乗っかっていけば、こんなに楽なことはない。NAGAIさん自身、ドラムでただのビートを叩いても16分の音符を持ったグルーブを作れる人だから、そこに乗っかるだけで強力なグルーブになる。さらに今はもっとシンプルになっ

ていて、これから次のツアーのリリースが始まりますけど、あまりその辺は難しく考えず演奏しています。

●そのお話を聞く、本書に出ている「意図して何かをやろう」としないという意識が連想されます。

■書誌情報

書名：TOSHI NAGAI MIND DRUMMER

著者：TOSHI NAGAI

定価：2,750 円（本体 2,500 円 + 税）

発売：2024 年 11 月 15 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124317116/>

CONTENTS

●MIND DRUM

*本章はリズム&ドラム・マガジン 2014 年 8 月号～15 年 6 月号にかけて掲載された、同タイトルの連載セミナーをもとに加筆／再編集したものです。

●“10 年後”の MIND DRUM（新規書き下ろし）

●巻末特別収録 1：Special Talk Session 2014 TOSHI NAGAI × TAKURO (GLAY)

*本対談はリズム&ドラム・マガジン 2014 年 12 月号に掲載された対談記事を再編集したものです。

●巻末特別収録 2：Special Talk Session 2024 TOSHI NAGAI × JIRO (GLAY)（新規書き下ろし）

PROFILE

TOSHI NAGAI（永井利光）

1964 年生まれ、宮崎県出身。6 歳の頃、兄の影響でドラムに興味を持ち叩き始める。小学校では鼓笛隊、中学・高校とブラス・バンドでドラムを担当。高校卒業後の 18 歳で上京、1983 年に武田鉄矢のバック・ドラマーとして 19 歳でプロ・デビュー。現在は GLAY や T-BOLAN をはじめ、さまざまなアーティストのサポートで活躍中。2024 年にドラマー生活 40 周年、還暦を迎えた。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp